

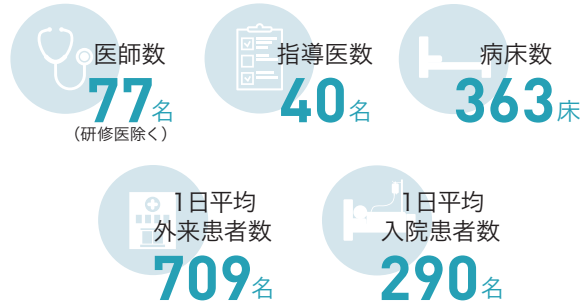


- ▶ 研修医数 1年目 7名、2年目 7名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 33名
- ▶ 研修医の主な出身大学

日本大学、産業医科大学、群馬大学、筑波大学、信州大学、新潟大学、弘前大学、浜松医科大学、国際医療福祉大学、順天堂大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、病理診断科、歯科口腔外科

■ 主な認定施設

地域がん診療連携拠点病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設、地域周産期母子医療センター、災害時連携病院

研修プログラムの特色

限られた期間に、現在社会的にも要望され、将来どのような専門科に進むにしても必要となる幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための選択科目を重視しています。

- ①地域医療は、診療所（外来診療・在宅・デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人介護施設等、多様な研修の組み合わせが可能です。
- ②選択科目の診療科は重複も可能です。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し決定します。
- ③救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できます。また、救急車同乗など救急医療を重視しています。

プログラム例 春日部市立医療センター臨床研修プログラム / 募集定員: 7名

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----------------------------------|---------------------|----|---------|----|----|---------------------------|-----|-----|----|----|----|
| 1年目 | 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・総合・神経・血液)(24週) | | | | | | 救急部門(12週)→外科(6週)→産婦人科(6週) | | | | | |
| 2年目 | 小児科(4週) | 選択(6週)→地域医療精神科(各4週) | | 選択(30週) | | | | | | | | |

必修科目: 内科24週、救急部門12週(麻酔科4週上限)、外科6週、小児科4週、産婦人科6週、精神科4週、地域医療4週、一般外来4週
 選択科目: 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・総合・神経・血液)、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、検査科、精神神経科
 ※一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療のブロック研修中に計4週並行して研修を実施する。
 (内科/外科2.0週、小児科0.4週、地域医療1.6週)

■ 研修医の処遇

| | | | |
|-----|--------------------------------------------------------------|------|--------------------------------|
| 給与 | 1年目: 410,552円/月、2年目: 430,952円/月 | 勤務時間 | 8時30分～17時15分 |
| 諸手当 | 当直手当 21,000円/回 | 当直 | あり(基本4回まで/月) |
| 保険 | 埼玉県市町村職員共済組合 厚生年金、雇用保険 労災保険・公務災害 医師賠償責任保険(病院において加入) | 休暇 | 土・日曜・祝日 年末年始、夏休、有給休暇20日/年 |
| | | 宿舎 | なし |
| | | その他 | 住宅助成あり ※市内居住の場合、上限45,000円/月 |

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- 医療法人 春明会 みくに病院
- 日本大学医学部附属板橋病院
- 独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院



■ 当院の魅力

整った環境で充実した研修を!

当院は、2016年7月に新築移転し、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、埼玉県東部医療圏の中核的な医療機関として、地域がん診療連携拠点病院としての充実・強化のため、内視鏡下手術支援装置(ダビンチ)・高精度放射線治療装置(リニアック)・がん細胞を見つけるPET-CT・SPECTなど最新の高度医療機器を導入、更新しています。

院内には医局とは別に研修医室があるので集中して学ぶことができます。医局内にはラウンジがあるので上級医とのコミュニケーションが図りやすいです。その他、綺麗な宿直室・院内コンビニエンスストアもあり、充実した研修医生活を送れる環境が整っています。

上級医と研修医との風通しが良く、また医師以外の医療職員ともコミュニケーションが図られているので、病院見学に来られた方からは雰囲気良かったとの感想をいただいています。

是非一度、見学にお越しください。



女性医師支援

《女性医師からのコメント》

男性が多い職場ですが、産前産後育休期間中も、周囲の医師の方々の御支援をいただき、産後半年で無理なく常勤として復帰する事ができました。復帰後の職場も、忘れかけていた知識の再勉強の場として新患外来の枠をいただいたり、当直免除や勤務時間の短縮など御配慮いただき、女性医師にとっても働きやすい病院です。

また、ベテラン保育士による院内保育も完備され、多くの職員も利用しています。コ・メディカル含め、皆仲が良く楽しい雰囲気の職場です。ぜひ一度、病院見学にいらして下さい。

- ・ 出産休暇制度、育児休暇制度等あり
- ・ 院内保育所完備



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・ 病院見学は随時開催しております。
- ・ 病院見学を希望される方は、まず下記担当までご連絡ください。



連絡先

病院名 春日部市立医療センター
 所属 総務課 総務担当
 住所 〒344-8588 春日部市中央6丁目7番地1
 TEL 048-735-1261(代表)
 FAX 048-734-2471

E-mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp
 URL http://www.kasukabe-cityhp.jp
 アクセス 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分

研修責任者 から メッセージ



臨床研修管理委員長(診療統括部長)

河野 通

当院に興味を持っていただきありがとうございます。
 研修医の定員が7人であるため多くの手技や手術症例を経験することができます。基本的に時間外勤務はありません。当直は月に4回までです。十分な年休や夏季休暇が確保されています。給与は近隣の研修施設の中では良い方です。各診療科間のコミュニケーションは良く、また、先輩研修医が後輩研修医の面倒を良くみてくれます。文献検索サイトの契約や予算も十分準備されています。交通の便もよく、都内には1時間程で出ることができます。

一方、内科の診療科に腎臓内科と膠原病内科がないためその領域の症例経験は少なくなってしまいます。救命救急センターがありませんので三次救急疾患を経験することはほとんどありません。

春日部市立医療センターはこんなところですが気軽に見学に来ていただき、気に入ったら一緒に働きましょう。

先輩研修医 の声

研修医 2年目

鳴海 優佳



春日部市立医療センターの最大の魅力は、上級医の先生やコ・メディカルを含めとても雰囲気が良く、わからないことがあればすぐに相談しやすい環境にあることです。先生方からの手厚い指導により多くのことを学ぶことができます。また、研修医の数が1学年7人と少人数のため早くから基本的な手技を一通り経験することができます。ぜひ一度見学にお越しいただき、実際の研修の様子や病院の雰囲気を感じていただきたいです。

研修医 1年目

根岸 駿太郎



春日部市立医療センターでの研修は、バランスよく学び、働きたい方におすすめです。

当院は春日部市の中核を担う総合病院であり、まんべんなく幅広い症例に触れることができます。当直を含め、救急外来での研修医の裁量が大きいことも特徴の一つです。

手技については、メジャーなものを多く、かつ早い時期から経験できます。初めはわからないことばかりですが、上級医の先生方や研修医の先輩に質問しやすい風土があるので心配はいりません。見学でお会いできることを楽しみにしています。